

今回のらしくレポートは、スポーツを通じて地域との交流を行っているマツダラグビー部に伺い、取材させていただきました。

協力して達成する喜び、楽しさ ラグビーを通して心をつなげたい

1963年創部のマツダラグビー部、マツダブルズーマーズ。1990年代までは全国大会の常連チームとして躍進を続けていました。近年はトップリーグ下の地域リーグ、トップキュウシュウに所属し、上位昇格を目指しています。

安芸郡坂町にある鯛尾グラウンドが、日々練習に励むチームの本拠地です。高いネットの向こうはすぐ広島湾。行き交う船舶が間近に見え、緑の芝生の上を心地よい海風が吹き渡ります。登録選手は現在40人。ラグビーが盛んなトンガ王国の選手も3人在籍しチーム力強化を図っています。公式戦は9月から2月頃までですが、オフシーズンはここで毎日業務後に練習に汗を流したり、他チームとの試合を行ったりしています。

単にラグビーの強さのみを追及するのではなく、ブルズーマーズが力を入れているのが、ラグビーを通じた地域との交流。小学校などに出向いてラグビーの面白さを子どもたちや保護者に教えるなど、積極的な地域活動を行っています。

「最初は僕らの体の大きさにびっくりしていた子どもたちもすぐに慣れて、元気に走り回ります」と話すのは、交流行事に多く参加している諸岡玲選

▲平成22年10月に東浄小学校(東区)で開催したタグラグビー教室



マツダラグビー部 (MAZDA BLUE ZOOMERS/ マツダブルズーマーズ)



手。行うのはタグラグビーという簡単なゲームです。腰に付けた2本のひも(タグ)を取り合いながらボールを持ってコートを自由自在に駆け回り、ゴールを目指します。「誰よりもラグビーが好き」と言う諸岡選手は「ラグビーの面白さ、みんなで協力して目的を達成する楽しさを知ってほしい。また来てねと言われると最高にうれしい」と日に焼けた笑顔を輝かせます。

ラグビーは、ボールを扱うスポーツでは最も多い1チーム15人。ボールを後ろにまわしながら前進し、ゴールを決めます。スクラムやタックルは体と体のぶつかり合い。ちょっと恐そうです。すると、「大きくてたくましい選手も多いけれど、ほら、小柄でやせた選手もいるでしょ。それぞれに出来るプレーがあり、個々の力を活かしながら協力して一つのボールを守っていく。力を合わせながら目的を達成するのがラグビーです。



▲鯛尾グラウンドで練習に励むメンバー

スポーツとしての面白さはもちろん、いろいろな個性を持っている人と共に助け合いながら前進することの大切さ、素晴らしさをラグビーを通じて知ってもらいたいですね。ブルズーマーズのスローガン『WITH』に込められた思いでもあります」とチーム監督の坂本秀彰さんは語ります。

グラウンドや地域で、今日も汗を流すブルズーマーズ。間近で見るラグビーは迫力満点。応援にも、ぜひ出かけてみてくださいね!

レポーター 市民パブリシスト **アネモネ**

らしくコラム Rashikku column

スポーツを通じた地域社会発展のVision

新聞、雑誌やニュース番組などで、スポーツの情報を見聞きしない日はありません。

特に今年はロンドン五輪が開催されるため、今夏はスポーツ一色に染まりそうです。そうしたメダルの色に国民が騒ぐなかで、その裏には一体どんなドラマが生まれるのでしょうか。

広島には地方都市としては珍しく、8競技9団体のトップスポーツの拠点があり、各スポーツ組織が「トップス広島」というネットワークを作り、広島をスポーツで盛り上げようと活動を行っています。なかでも人気を二分するのは「広島東洋カープ」と「サンフレッチェ広島」です。

マツダスタジアムが誕生し、新球場効果により莫大な経済効果が試算された結果、史上最大の観客動員を記録し、1975年以降37期連続で黒字経営を続けています。

一方、地域密着を理念として掲げるJリーグに属するサンフレッチェ広島は、クラブ誕生から20年目を迎えるという記念すべき2012年に「減資」という会計処理を行い、簡単に言えば、借金の帳消しを行いました。理由は1つ、観客動員に伸び悩んでいるからです。

地域活性のコンテンツとしてスポーツを活用することは、広島において有用性は高いように思えます。まずは1人でも多くの方が1

回でも多くスタジアムへ足を運ぶことで、「空間エンターテインメント」および「感動至上主義」というプロスポーツの特性に魅了される必要があります。

「人が動き、同時におカネも動く」。これは紛れもなく地域が活性化するモデルだと思います。同モデルを媒介するのがスポーツであることで、広島らしさが明確となり、他府県との差別化にもつながると思います。

最後にどうしても触れなければならない問題は、旧市民球場跡地活用についてです。市内中心部の空洞化が顕著となり、商圏が分散化したことで、「元気」が失われているように思います。跡地活用はスポーツを軸としたスタジアムでの活用にすることで、市民がトップスポーツに触れる機会を多くし、新しい動線を創設することで、広島の魅力を深める絶好の機会にすることが喫緊の課題だと思えます。



Profile
広島経済大学 経済学部 スポーツ経営学科
永田 靖 准教授

■活動概要
経営学・会計学・スポーツ経営学・税理士

ようこそ! 公民館へ

安芸区内公民館

地域のみなさんの学習活動を応援する最も身近な施設「公民館」で活動しているグループをご紹介します。今号は、安芸区内公民館で活動しているみなさんです。

①船越誰故草保存会 (船越公民館)

船越誰故草保存会は、かつて旧船越町の町花であった「誰故草(別名エヒメアヤメ)」の自生地復活を目指して、昭和54年に結成されました。以後、公民館での栽培活動や普及活動を続けています。現在、会員は65人で、定例会には30人程度の参加があります。



誰故草は、名前の由来が船越にあると言われているおり、町内に自生地があったとされています。昨年からは、かつての自生地であった大江谷(現・船越中学校付近)への苗の移植を開始しました。

現在、毎週金曜日の午後7時から小学生から大人まで幅広い年齢層のメンバーがアーチェリーの練習をしており、休憩中は世間話などを楽しんでいます。初心者の方には、弓具をお貸しします。アーチェリーはオリンピック競技種目です。今からガンバレば、将来、オリンピックに出場できるかも?参加者募集中です!!



②瀬野ロビンフット (瀬野公民館)

平成6年広島アジア大会で瀬野川公園グラウンドがアーチェリー会場になったことで、近隣の住民が応援しようと平成3年9月に「瀬野ロビンフット」を結成しました。

毎週金曜日に活動しています。グループ名は、明るさと元気の象徴である「ひまわり」の花に由来します。現在、約20人のメンバーが指導者の下、心地よい汗を流しています。メンバーの多くは、仕事や子育てを終えた女性ですが、もちろん男性もいます。ベテランから初心者まで皆仲良しで、いつも笑いが絶えません。太極拳はゆっくりとした動作の中に、身体の柔軟性を高めたり、呼吸法など大切な要素が満載です。老化に伴う転倒防止にも良いそうです。春にはプチ花見など楽しいイベントもあります。扇や剣を用いた演舞もあり、競技会に参加する人もいます。奥が深く、「ひまわり」のように明るく元気で活動を続けたいと、練習に励んでいます。



③太極拳同好会「ひまわり」 (中野公民館)

以下の児童と乳幼児に絵本の読み聞かせを行っています。おはなしは、大人が子どもに読み聞かせを行っていただくのではなく、希望する小学生に読み聞かせを実践させ、指導も行っていきます。



また、年に一度の地域のまつり「阿戸町民まつり」において、活動をまとめて発表するなど、日ごろの学習成果を還元しています。今後も公民館で継続して活動するとともに、地域の施設でも、阿戸町の民話の読み聞かせを行うなど、地域文化の傳承に力を入れていく予定です。

④めだかクラブ(阿戸公民館)

平成6年に発足し、毎月第3土曜日に公民館で活動しているおはなし会のグループです。毎月テーマを決めて、小学生

⑤3B体操(矢野公民館)

毎月第1・3木曜日に活動しています。3B体操とは、ボール・ベルターの器具を運動の助けとしながら、すべての動きを音楽に合わせて集団で行う健康体操です。3つの器具の頭

文字をとり「3B体操」と言います。ストレッチ運動・筋力運動など内容も様々です。会員は、30〜70代と幅広く、現在20人で活動しています。いつまでも若々しく美しくと希望を持ちながら、仲間と共にストレス解消して、伸び伸びと運動をしています。自分の体調に合わせて無理せず行う体操は、老化防止にもよいと思います。



グループへのお問合せについては、各公民館へお願いします。

- ①船越公民館 ☎082-823-4261
- ②瀬野公民館 ☎082-894-8006
- ③中野公民館 ☎082-893-1234
- ④阿戸公民館 ☎082-820-8222
- ⑤矢野公民館 ☎082-888-0044

安芸区内公民館



生涯学習

シティカレッジ(後期)

大学などが持つ優れた研究・教育機能を市民生活に生かすことを目的に学習機会を提供します。

場所 まちづくり市民交流プラザ

申込方法 (1)電話、ファックス、来所により、①希望講座名または

大学名②氏名(ふりがな)③住所

④連絡先(電話番号、ファックス

番号)・先着順により定員になり

次第締め切ります。※各講座とも

全回参加が前提です。※郵送(は

がき等)による受付は行っていま

せん。(2)受付時間・月(金(祝日

を除く)午前8時半から午後5時

15分まで。(来所の場合は午前9

時半から)。土曜日・日曜日・祝

日・8月6日は閉所しています。

(3)申込開始日が講座によって異

なります。申込開始日まではお

受けできませんので、下記の表

をご確認ください。

申込・問合せ (財)広島市未来都市

創造財団ひと・まちネットワー

ク部管理課

〒730-0036 中区袋町6番
36号
☎082-541-5335
☎082-541-5611

大学	広島文教女子大学	広島国際大学	広島経済大学	広島市立大学	広島工業大学	広島大学	鈴峯女子短期大学
講座名	日常生活に生かす心理学	健やかにそして明るく生活するために	スポーツビジネス最前線	創作人間	電気の未来	歴史のなかの瀬戸の海～瀬戸内海を旅した人びと	広島発女性学
日時	9/29・10/6・10/13・10/20 土曜(全4回) 10:00～11:30	9/29・10/6・10/13・10/20 土曜(全4回) 13:00～14:30	10/30・11/6・11/13・11/20 11/27 火曜(全5回) 18:00～19:30	11/1・11/8・11/15・11/22 木曜(全4回) 18:00～19:30	11/2・11/9・11/16・11/30 金曜(全4回) 18:00～19:30	11/10・11/17・11/24(11/2講座) 土曜(全6回) ①13:30～15:00 ②15:15～16:45	12/1・12/8・12/15 土曜(全3回) 10:30～12:00
対象員	社会人 50人	社会人 50人	社会人 60人	社会人、大学生、高校生 100人	社会人、大学生、高校生 50人	社会人、大学生、高校生 30人	社会人、大学生、高校生 50人
受講料	無料	無料	無料	無料	無料	4,000円	無料
開始	8月15日から	8月15日から	9月18日から	10月1日から	10月1日から	10月1日から	11月1日から

リカレント講座

大学などの高等教育機関と連携して、社会人の皆さまに高度で専門的な学習機会を提供する公開講座です。今回は広島国際大学との連携講座を2講座、広島大学大学院との連携講座を1講座実施します。

広島国際大学との連携講座「高齢社会を生き抜く知恵Ⅰ」

内容 超高齢社会を生き抜いていく私たちは、絶望ばかりではおれませんが、認知症についての正しい理解とケア論、権利を守る制度や、高齢期の健康増進についての知識・技術・心構え等を武器に、フロンティアスピリッツを持って、荒野の開拓を志します。

場所 まちづくり市民交流プラザ 北棟5階研修室A/B

「高齢社会を生き抜く知恵Ⅰ」

回	日程	テーマ	講師
1	10/11(木) 18:30～20:30	認知症の方とのお付き合いのしかた	塩谷久子 教授
2	10/25(木) 18:30～20:30	高齢者の権利を守るための成年後見制度	シェラー アンドレアス 准教授
3	11/8(木) 18:30～20:30	高齢期に本来の持てる力を甦らせるために!	高尾文字 教授

「高齢社会を生き抜く知恵Ⅱ」

回	日程	テーマ	講師
1	10/20(土) 10:00～12:00	絵で読む『百人一首』	田野慎二 准教授
2	11/17(土) 10:00～12:00	中国における高齢者福祉の現状と課題	包敏 准教授
3	12/1(土) 10:00～12:00	音楽をより身近なものに	小坂哲也 教授

定員 80名(定員を超える場合は抽選)
受講料 1500円
※対象・申込方法は12ページ参照

広島国際大学との連携講座「高齢社会を生き抜く知恵Ⅱ」

内容 高齢社会を生き抜くためには、高齢期についてのマイナスイメージをプラスに変えるような知力が必要です。古典や音楽などの豊かな趣味の在り方、お隣の中国の福祉の現状と課題、アジアの福祉における日本の果たす役割等について考えます。

場所 まちづくり市民交流プラザ 北棟5階研修室A/B

定員 80名(定員を超える場合は抽選)

受講料 1500円

※対象・申込方法は12ページ参照

「21世紀の人文科学」講座2012「『古事記』から日本を読む」

回	日程	テーマ	講師
1	10/13(土) 13:30～15:00	『古事記』は偽物?	西別府元日 教授
2	10/13(土) 15:00～16:30	本居宣長以前の『古事記』享受	久保田啓一 教授

広島国際大学との連携講座
リテラ「21世紀の人文科学」
講座2012「古事記」から
日本を読む」

内容 2012年に、日本最古の歴史書として伝わる『古事記』が編纂されて1300年を迎えました。「古事記」は日本人のルーツを探る第一級の歴史書であるのみならず、今日に至るまで日本の宗教・精神文化に多大な影響を与えているといつてよいでしょう。そこで、この講座では、『古事記』の成りたち、またそれがどのように読み伝えられてきたのかを検討しながら、日本人の歴史認識や宗教・精神文化のルーツについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。

場所 まちづくり市民交流プラザ 北棟6階マルチメディアスタジオ

定員 100名(定員を超える場合は抽選)

受講料 750円

▼対象・申込方法については3講座とも共通

対象 市内に在住か通勤・通学の方

申込方法 8月1日(水)から申込受付開始。申込開始日以前は受付できません。1講座ごとにお申し込みください。はがき(1人1枚)に①講座名(講座ごと)②住所③氏名(ふりがな)④電話番号を記載のうえ、左記宛先へお送りください。

申込締切 9月14日(金)【必着】

(財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワー

ク部管理課

〒730-0036 中区袋町6番36号

問合せ (財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワー

ク部管理課

☎082-541-5335

イベント

第14回広島国際アニメーションフェスティバル

内容 本大会は、本市が世界に誇るアニメーションの国際映画祭です。過去最多の世界63ヶ国・2110点の応募作品の中から一



HIROSHIMA 2012 公式ポスター
Artwork by Nobuhiro Aihara
Design by Dino Sato

次選考審査を通過した、66作品の公開審査のほか、著名作家の作品や長編作品の上映、展示、プロやプロを目指す作家の持ち込み上映の場、ワークショップ、エデュケーショナル・フィルム・マーケット、キッズクリップなど子どもから大人まで楽しめる総合的な映画祭となっています。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日時 8月23日(木)～27日(月)

場所 アステールプラザ(中区加古町4番17号)

入場料 1プログラム券(一般)

前売1000円・当日券1200円(1日券、全プログラム券もあり)

問合せ 広島国際アニメーション

フェスティバル実行委員会事務局

☎082-245-0245

☎082-245-0246

URL <http://hiroanim.org/>



▲コンサートの様子

広島ジュニアマリンバアンサンブルコンサート Vol.22

内容 平成3年に結成。共に合奏することで音楽に親しみマリンバを好きになってほしいという願いのもと、体中で音楽を感じ、全身を使って生き生きと個性豊かに演奏します。広島で初めてのマリンバオーケストラを結成した「広島マリンバオーケストラ」との共演もお楽しみください。

日時 8月19日(日) 午後2時



▲演奏会の様子

内容 これまで約1000人の若者にオーケストラとの共演の機会を与えてきたコジマ・ムジカ・コレギアも今年で22回目を迎えます。今回はピアノ・ヴァイオリン・マリンバのソリスト7人が名曲の数々をお届けします。幼い頃から熱心に学んだ成果を将来の夢にのせて精一杯演奏します。

コジマ・ムジカ・コレギア 第22回定期演奏会

開演(開場30分前)
場所 アステールプラザ大ホール(中区加古町4番17号)
入場料 前売1000円/当日券1500円(全席自由)
問合せ ☎082-271-1477(浅田)
URL <http://www6.ocn.ne.jp/~marimba/>

日時 8月29日(水)午後6時30分開演(開場午後5時30分)

場所 アステールプラザ大ホール(中区加古町417)

入場料 前売一般2500円/学生(高校生以下)1500円/親子ペア3500円/指定席3500円

問合せ ☎080-3000028・800024(栗栖)

広島市高齢者作品展「達人たちの夢2012」

内容 60歳以上の方の公募作品展、シルバリアンサンブルコンサート、健康相談・体力測定コーナー、再生自転車販売(9日正午より)など。高齢者の方の日ごろの学習成果を発表する場です。

日時 9月1日(土)～9日(日) 午前10時～午後6時(最終日は午後3時まで)

場所 まちづくり市民交流プラザ 4階ギャラリーほか

問合せ (財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワー

ク部管理課

☎082-541-5335

〒730-0036 中区袋町6番36号

問合せ (財)広島市未来都市創造財団ひと・まちネットワー

ク部管理課

☎082-541-5335

〒730-0036 中区袋町6番36号

スポーツの秋、さわやかな汗を流しませんか？

第18回広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル開催！

内容 毎年、約7万人弱の市民が参加してスポーツを楽しむ一大イベント！伝承あそびや20種目以上体験できるニュースポーツコーナー、自分の体力年齢がわかる新体力テスト、家族で参加できるウォークラリーやリレー、3歳から参加できる50mかけっこもあります。参加無料！家族で一日遊ぼう！詳細は、左記ホームページをご覧ください。



ここにかけっこチャレンジ

日時 10月14日(日) 午前8時30分～午後5時
場所 広島広域公園陸上競技場ほか
問合せ 広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバル実行委員会事務局(公益財団法人広島市

スポーツ協会内)
☎082・243・0579
URL <http://www.sports-or-city.hiroshima.jp>

ヒロシマの心を世界に2012



▲昨年の様子

次世代を担う青少年による平和のメッセージの発信を中心とした平和文化イベントを開催し、被爆の記憶の風化を防ぐとともに、世界恒久平和を願うヒロシマの心を訴えます。

内容 広島市立舟入高等学校演劇部による演劇「麦っ子ゲン」(中沢啓治「ヒロシマの空白 中沢家始末記」より)、ひろしま子ども平和議会、長編アニメーション作品「ジュノー」上映、お茶席、折り鶴教室など
日時 8月6日(月) 午前9時～午後5時
場所 広島国際会議場(中区中島町1-5 平和記念公園内)

入場料 無料
問合せ 広島市市民局市民活動推進課
☎082・504・2103

第4回「ハー&ふれあい」ファッションショー

高齢者・障害のある方をモデルとしてウエディングドレスや振袖などの衣装を身につけてトータルビューティーファッションショーを行います。美容師有志がボランティアで着付け・ヘアメイクを担当します。美しく大変身された50人のモデルさんと、心ときめく素敵な笑顔をご共有できるファッションセラピーを目的としたファッションショーです。



▲昨年の様子

日時 9月17日(月) 午後1時～
場所 広島市社会福祉センター2階ホール(中区千田町1-9-43)

入場料 500円
問合せ ファッションセラピーの会ヒロシマ(ビューティーイット内)
☎082・293・1471
広島市ボランティア情報センター
☎082・544・3399
☎082・544・3404

表彰

あなたのボランティア活動を聞かせてください

第16回ボランティア・スピリット賞

「PRUDENTIAL SPIRIT OF COMMUNITY」ボランティア・スピリット賞は、地域社会でボランティア活動に取り組む青少年のみなさんを応援する国際的プログラムの一つです。日本だけでなく、世界各地でも実施されており、日本では16年目を迎えました。全国では様々なボランティア活動に取り組む仲間がいます。日頃取り組んでいる活動を通じてボランティアの輪を広げていきましょう。

応募内容 あなたが取り組んでいるボランティア活動について感じたこと、学んだことなどを応募用紙にご記入ください。活動分野は問いません。
対象活動期間 2011年4月以降に行われた(行われている)活動であること。

応募対象 応募締切時に12歳以上

18歳以下でボランティア活動をしている個人またはグループ。グループ応募の場合は、構成メンバーが中高生のグループであること。

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入のうえ、郵送または左記ホームページから直接応募できます。応募用紙は、活動当事者の生徒自身でご記入ください。

応募締切 9月18日(火) 必着
問合せ ボランティア・スピリット賞事務局
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10
☎03・5501・5364
URL <http://www.vspirit.jp>
Email mail@vspirit.jp

第16回ボランティアスピリット賞

中国・四国ブロック表彰式 & フォーラム
受賞者と会場にこられた中高生のみなさんとのディスカッションの場を設けます。
日時 11月17日(土) (予定)
場所 広島国際会議場(中区中島町1-5)

助成

緑化プランに助成します
第23回「緑の環境デザイン賞」
対象事業 緑豊かな都市環境の形成に寄与するプラン。

成など生活の質の向上を図るプラン並びに緑の持つ環境保全機能を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成に寄与するプラン。

対象団体 公益法人、特定非営利活動を行う団体、学校、町内会、事業所等の法人や任意団体、公共団体、事業団等の団体及びこれらと同等以上の団体であること。

対象場所 公有地・民有地を問わず、小規模であっても公開性があ

応募方法 下記ホームページより応募用紙をダウンロードして、必要事項を記入のうえ、資料(位置図・周辺図・緑化プラン図・緑化プラン断面図またはスケッチなど)を添付して左記問合せ先にお申し込みください。

応募期限 9月10日(月)【当日消印有効】

申込・問合せ 財団法人都市緑化機構内「緑の環境デザイン賞」事務局
〒100-0021 東京都千代田区外神田2-15-2 新神田ビル8階

URL <http://www.urbangreen.or.jp>
※応募要綱・応募条件など詳細

については、ホームページでご確認ください。

広島市からのお知らせ

特定非営利活動促進法の改正について

特定非営利活動促進法が、平成24年4月1日から改正されました。

【主な改正点】

- ① 所轄庁の変更
広島市のみならず事務所が所在する法人は、申請や届出の窓口が広島市になりました。
- ② 活動分野が追加されました。
 - ・ 観光の振興を図る活動
 - ・ 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- ③ 理事の代表権の制限に関する規定が変更されました。
定款で代表権を理事長に限っているような場合、代表権を有しない理事は、9月末までに登記の抹消の手続が必要です。ご注意ください。
- ④ 役員変更等の届出に、変更後の役員名簿の添付が必要となりました。
- ⑤ 定款変更の届出に、総会の議事録の写しと変更後の定款の添付が必要となりました。
- ⑥ 定款変更に係る登記を完了したときは、登記事項証明書を提出することになりました。

⑦ 法人が作成すべき会計書類のうち、「収支計算書」を「活動計算書」に改めることになりました。

問合せ 広島市市民局市民活動推進課
〒730-8586 中区国泰寺町1丁目6-34
☎082・504・2746
☎082・504・2066

NPO法人設立認証申請等の相談窓口を開設

ボランティア等で活動している団体がNPO法人として法人格を取得したい場合、法人格を取得するための認証申請が必要です。

広島市ではNPO法人の認証申請に当たって、申請書の様式、記載方法、添付書類等に関する質問にお答えするための相談窓口を開設しました。

相談申込 相談は原則として予約制で実施しています。相談希望日の1週間前までに、希望日時、来庁者の氏名・人数を電話でお知らせください。

すでに申請書類を作成されている方は、記入された申請書、添付書類を持参してください。

相談場所 広島市市民局市民活動推進課(広島市役所本庁舎2階)
問合せ 広島市市民局市民活動

プラザからのお知らせ

推進課まちづくり調整係
☎082・504・2746

ものづくり教室

「役に立つものって、実は科学技術の応用なんだ。」ということを子どもたちに体感してもらい、科学技術への興味を持っていただく企画です。今回は、いざというときに役に立つものをテーマにもつくりを行い、科学への興味や災害に対する意識を深めます。

内容 はじめに、皆で防災に対する勉強をします。その後、3つのチームについて説明します。その説明を聞いて、自分が入りたいチームを一つ選び、ものづくりを行います。

チーム1「とおくの人に知らせるものをつくるよ」チーム2「家にある「すぐれもの」を使って家具をつくるよ」チーム3「にんじやも食べてたほぞん食をつくるよ」

日時 8月25日(土) 午後1時～午後4時
場所 まちづくり市民交流プラザ 北棟5階 研修室A・B

参加費 無料
対象 小学校3年から6年生(保護者同伴)

護者同伴)

定員 親子30組

申込方法 8月1日より申込受付開始。電話またはFAXにて左記、問合せ先にお申し込みください。定員になり次第締め切り。先着順。

申込・問合せ まちづくり市民交流プラザ
〒730-0036 中区袋町6-36
☎082・545・3911
☎082・545・3838

共催 公益社団法人日本技術士会 中国本部 青年技術士交流会

余暇活用相談会「シニアのための華麗なる加齢術」開催中

「よか学び!よか遊び!」余暇の活用方法等について、余暇診断の専門家がアドバイスします。余暇診断によって、あなたに合った余暇の過ごし方がきっと見つかります!

日時 毎月第3土曜日 午後2時～午後3時30分
場所 まちづくり市民交流プラザ 南棟1階
相談員 広島県余暇プランナー協会

参加費・申込 不要
問合せ まちづくり市民交流プラザ
☎082・545・3911



第7回まちづくり 市民交流フェスタ 開催報告

雨上がりの日差しが降り注いだ、5月19日(土)、20日(日)の両日、まちづくり市民交流プラザとその周辺を会場に、「まちづくり市民交流フェスタ2012」を開催しました。



バザーの様子

屋外舞台にはモンゴルやタイ、中国など各国の料理が並び、1階では三味線やハーモニカ、フラや民謡などの華やかなステージ、4階ではカラーセラピー体験や発明品の展示、無農薬野菜・米の販売など開催、他にも自主製作映画の上映、笑いヨガやコミュニケーション講座なども開催され、年齢性別を問わず楽しめる2日間となりました。

この「まちづくり市民交流フェスタ」は、広島市内近郊で市民活動や生涯学習活動などに取り組んでいる団体・グループの皆さんが、日頃の活動成果の発表や活動の紹介、情報発信などを行うとともに、参加団体同士や来館される市民の皆さんと交流を深め、活動の輪を広げていくことを目的に開催しています。このフェスタは、公募で集まった10人前後の企画スタッフと各参加団体により組織された実行委員会が中心となって運営され、昨年の11月から企画や準備を進めてきました。



ステージ発表の様子

フェスタ当日は、実行委員の皆さんの努力とともに天候にも恵まれ、昨年度より約500人以上も増え、6869人の方々にご来場いただきました。市民活動や生涯学習活動、そしてまちづくり市民交流プラザを身近に知っていただく最良の機会になりました。

今年度の「まちづくり市民交流フェスタ」の成果をバネに、また来年度のフェスタに向けて、動き始めます。もしこの

フェスタ当日は、実行委員の皆さんの努力とともに天候にも恵まれ、昨年度より約500人以上も増え、6869人の方々にご来場いただきました。市民活動や生涯学習活動、そしてまちづくり市民交流プラザを身近に知っていただく最良の機会になりました。

もちつき体験



ちよこっも一服
〜こども茶道教室〜



募集しています!

「らっく『情報の森』」に載せてほしい!という、イベントや募集記事を募集しています。次号は「11月下旬発行予定」です。12月以降の情報をお待ちしています。下記、広島市まちづくり市民交流プラザまでお送りください。



広島市まちづくり市民交流プラザ

- 開館時間
午前9時30分～午後10時
- 休館日
毎月第3月曜日、12月29日～1月3日
- 交通アクセス
市内電車:「袋町」電停から徒歩約3分
バス:「袋町」バス停(広島電鉄・広島バス)から徒歩約3分
アストラムライン:「本通駅」から徒歩約6分

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。ただし、車いす使用者等にご利用いただく駐車場は3台分用意しています。
※自転車・バイクの方は、地下の公共駐輪場(有料)をご利用ください。

- ホームページ
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/m-plaza/>
- ひろしま情報a-ネット
<http://www.a-net.shimin.city.hiroshima.jp/>
※メールマガジンの登録もできます。
- E-mail
m-plaza@cf.city.hiroshima.jp

〒730-0036 広島市中区袋町6-36
TEL:082(545)3911(代表)
TEL:082(545)3913(施設予約受付専用)
FAX:082(545)3838

